



高校における探究学習のいま

番外編

福岡県 西南女学院高校

探究学習とは、生徒自身が自分で問題を設定し、その問題を解決するために情報を収集・分析し、意見を交換したり協働したりしながら進める学習活動のことです。将来、「Society5.0」(経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会)を生き抜くために必要な力を身に付ける場となります。



北九州市の高校生が半導体関連企業を訪問

マイナビLocus × ガールズテックプログラム

Locusでは全国の自治体、企業、高等学校をつなぐことで、地域ごとのエコシステムを構築しています。

今回、Locusの取り組みとして、業界知識と多角的な視点を身につける事を目指した教材、「業界探究の1PPO!」と、福岡県が実施する、「ガールズテックプログラム」を活用し、市内の高校生が半導体関連企業に訪問し、理解を深めました。

STEP1

事前学習から会社訪問まで

訪問先は、福岡県宮若市で主に電子部品向け製造装置を手がけるメーカー、日本ファインテックです。生徒たちは事前学習として、「業界探究の1PPO!半導体編」で、地方都市を活性化するにはどうすればよいのか、をテーマに、産業の伸び悩み、人材の流出といった課題を抱える地域において、地元企業が進めている取り組みを学びました。



STEP2

半導体と企業について知る

当日は座学として、半導体についての説明と会社概要や役割、製品などが紹介されました。質疑応答では、工場のクリーンルームと他の場所とのゴミの量の比較、ゴミの取り除き方に関する質問が出ました。

次に、工場の大型クリーンルームでの作業風景を見学。生徒たちは熱心な様子で、社員からの説明にも興味深く耳を傾けていました。



STEP3

将来に向けて視野を広げる

最後は、実物の製品を間近でチェック。中でも驚くほど小さなサイズの製品チップに詰まった技術に触れ、ものづくりの力を実感しました。質疑応答では、仕事のやりがいや若手社員が回答。「お客さんと一緒に考えるのが楽しい」「いろいろなことに挑戦できる」との言葉を聞き、真剣に傾く姿も見られました。

今回の体験を通じて、半導体産業の魅力や重要性を感じるとともに、進路選択につながるきっかけとなることが期待されます。



日本ファインテック
代表取締役
平田 大輔さん

近ごろ半導体関連産業は盛んと言われていますが、やはり人手不足は他業種と同様に共通の課題です。そこで高校生のみなさんに早い段階から我が社の業務や役割を知っていただく場を設け、よりよい人材の獲得を目指しています。

我が社は一般的にあまり知られていないBtoBの企業です。しかし、皆さんの生活に役立つ製品をより高い品質で提供できるよう、大手企業を支えています。そんな地元の会社を将来の選択肢の一つに考えてもらえたらと思います。

若い人達には、めまぐるしく変化する世の中に今のうちから目を向け、世界状況を理解して視野や知識を広げておくことはとても大切です。理系だけでなく文系の社員も活躍できる仕事なので、日本の半導体産業を皆と一緒にさらに強く大きくしていきたいでしょう。



公益財団法人
北九州産業学術
推進機構(FAIS)
片山 二郎さん

北九州市若松区にある「北九州学術研究都市」は産学官連携の中心地で、FAISは地域の大学や研究機関と産業界の連携、支援を行う機関です。

日本ファインテックは、北九州地域の半導体産業の活性化に向けて設立された「北九州半導体ネットワーク」に参画頂いています。今回は「ガールズテックプログラム」事業の一環として、会社訪問が実現しました。

半導体業界でも人材の確保は急務ですが、長期的な視点で若い世代を育てていくことも重要です。そのために、マイナビが開発した探究学習プログラム「Locus」は大変有意義だと感じます。地元企業にいつそ目を向けてもらえるよう今後も取り組みを進めていきます。



西南女学院高校
2年
谷口 茉幌さん

半導体という言葉はよく耳にしますが、これまで詳しいことは知りませんでした。いつも使っているスマートフォンをはじめ、パソコン、テレビ、冷蔵庫などの電化製品、自動車、人工衛星まで、身の回りのものはもちろん、あらゆる電子機器に使われ、私たちもたくさんお世話になっていると分かり、すごいと思いました。

また、それを作るためにさまざまな工夫がなされ、多くの人や設備が関わっていることにも驚きました。座学では新しい知識を得て、工場見学や実物の製品は初めて見るものばかりで面白く勉強になりました。

まだ進路は決まっていますが、社員の皆さんのやりがいを聞いて、私も社会や地域のために楽しく仕事ができる企業で働きたいです。